

仁和寺「松林庵」 補足資料①

平面図

木造2階建て
延床159.97㎡

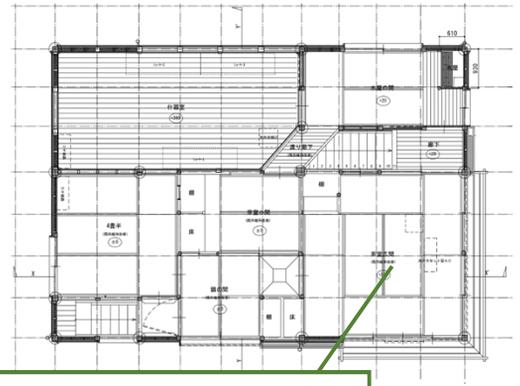
玄関の式台板や洗面室の
天板はケヤキの一枚
板です。

浴室の床は御影石張、壁・天
井は総桧張、浴槽材は最高と
いわれる高野マキです。



内部木部を京町家らしい
弁柄色に塗り、壁は細かい
スサの入った土壁や漆喰
仕上としています。

1F



2階南側は耐震性能を確保しつつ、
瀟洒な数寄屋造りの既存茶室空間
を残しています。

2F

施工中の様子



全景



小屋組解体



小屋組補修



屋根復元



ジャッキアップ



地業工事



基礎工事



柱根継補修

仁和寺「松林庵」 補足資料②

配置図・緑化計画図



従来、茶室機能を持ち合わせた「松林庵」の構えとして、あくまでも簡素に設えた茶室門を演出。門扉を透して観える「石燈籠と枝垂れ紅葉」が出迎え、露地へと誘います。

お年寄りや身障者に対応したバリアフリーの石張りにて、玄関までアプローチする。直線だけの構成で、単純に成りがちな「景色の見え掛かり」を四季の草木や景石を用い、より効果的にあしらう事で、変化を付ける様に設えました。

築山を施す事で、やや現代的な御室会館の外壁を隠し、綺麗な線形を描く屋根のみを主庭からの背景としました。その背景が視える事により、仁和寺境内であることを強調しています。御殿茶室「遼廓亭」と同様に地形の高低差を生かし「枯れ滝、流れ」を創造し、そこに「アカマツ、ツバキ類、紅葉」を植え込み、自然を基調とした景観を造設しました。

松林庵

アプローチから望む松林庵の玄関まわりは、改修前と同様に漆喰壁や杉皮等の伝統的な自然素材で仕上げ、穏やかな佇まいとなっています。銅板葺の深い玄関庇は訪問される方を優しくお迎えます。

1階南の和室外部には落ち着いて築山を眺められるように濡縁を設けています。
2階茶室からは、東側の築山から南側に眺望が大きく広がり、京都の四季の景色を堪能して頂けます。